

年間主題 ともにつむぎだす～希望の中で～

月の主題 見つける どれがいい 深まる

月のねがい 友たさんの自然物に触れ、喜ぶ
自分で考えたことや思ったことを言葉にして表す
神さまが全てのことを備えてくださることを知り、感謝する

地はお造りになったものに満ちている。 詩篇104篇24節



子どもと向き合う時間ー2

子どもが話したい時、親はいつもいつも調子よく聞いてあげられる体制ではないことがある。
私たち保育者であっても、それは同じことが言える

子どもにとってもそう。
私たち大人から子どもに話しかけても子どもがあそびに夢中である時は、うわの空で応えている。あるいは適当に何となく返事をする。

しかし大人は自分が話しかけた時に子どもがいい加減な対応だと注意したり叱ったりしないだろうか。
ちゃんと聞いて！と。あるいは、答えなさいと。

親にも都合があるように子どもにも都合があることを忘れてはならない。
子どもの大切な時間もあることを認め、子どもの心のとびらにノックくらいしよう。

11月1日はこひつじ保育園の開園記念日です。

開園当初から、キリスト教の教えを土台にし、デューイの思想である子どもの自発性を大切にした保育をするという理念が掲げられてきました。

今でこそ、子どもの自発性（主体性）を伸ばすことが叫ばれましたが、当時はまだそのような考えは珍しかったと思います。

子どもをしっかりと理解するということは時間と根気のいることですが、保育が充実していくことは子ども理解の深さに大きく繋がります。

こひつじの先生たちは、その点からすると、本当に子どもたちとしっかり関わり、それぞれの子どもの個性を見抜き、それぞれに対応したかかわり方をしています。手前みそになるのですが、これは園長として本当に誇らしく有難いことだと思っています。

園の先生たちが子どもと関わるこの仕事を誇りに思っている証拠でもあります。今後もこのような職員チームと共に、45年目のこひつじの歩みが豊かに進み、子どもにとっても保護者にとっても嬉しい園であるよう、祈り励みたいと思います。